

## 男女共同参画推進員の紹介

熊本県では、地域社会における男女共同参画の推進に向けて、地域ネットワークの核となる「男女共同参画推進員」を設置しています。それぞれの地域で防災や女性活躍など、男女共同参画の推進に取り組む推進員(任期:2021~2022年度)の皆さんを紹介します。

interview 山鹿市 芹川 恵さん



子どもたちへの防災講座の様子。「災害のとき、自分たちにもできることはある」という、気づきがうれしと芹川さん(写真左)

**学びと経験を生かし 地域活動に楽しく取り組む**

2013年度に「熊本県男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業」に参加し、山鹿市の男女共同参画推進員として活動する芹川恵さん。きっかけは学生時代に恩師から聞き、ずっと心に残っていた「これからは男女平等の時代」という言葉。「研修後も男女共同参画についての学びを深めることに、その奥深さと現状での課題の多さを実感しています」と話します。

現在芹川さんは、食生活改善推進員としての経験も生かして、主に「食」と「防災」そして「男女共同参画の視点を交えた講座を、地域や学校、保育園などで行っています。『台風の時、芹川さんの話を思い出して行動したら、怖くなかったよ』と、受講した人々から寄せられる感謝の声が次の原動力に。「今後も、自分が生かされていることに感謝し、楽しみながら社会貢献ができれば」と話す芹川さん。今年度は内閣府主催の地域防災活動のワークショップに参加するなど、活躍の場が広がっています。

### 男女共同参画推進員(32人)

#### 県北 地域



今村美希さん (荒尾市)



黒崎麻子さん (荒尾市)



吉田公美さん (玉名市)



皆川由貴子さん (玉東町)



田川美穂さん (和水町)



永田尚稔さん (和水町)



田中緑さん (長洲町)



芹川恵さん (山鹿市)



山口法子さん (菊池市)



上野智美さん (菊池市)



原恭平さん (合志市)



株元知子さん (合志市)



池邊豊美さん (合志市)



野山ひろみさん (大津町)



堀内悟さん (天草市)



酒田拓也さん (天草市)

#### 天草 地域



金田隆さん (大津町)



庭田孝男さん (菊陽町)



知里口香穂里さん (阿蘇市)



鳩野美陽子さん (小国町)



安井寛子さん (高森町)

#### 県央 地域



池田真理子さん (益城町)



堀内敦子さん (益城町)



谷川淳子さん (益城町)



川島ひとみさん (宇城市)

#### 県南 地域



井山さおりさん (八代市)



梁美琪さん (八代市)



中原泰子さん (水俣市)



渡邊利香さん (人吉市)



吉村和子さん (人吉市)



浦口佐美代さん (津奈木町)



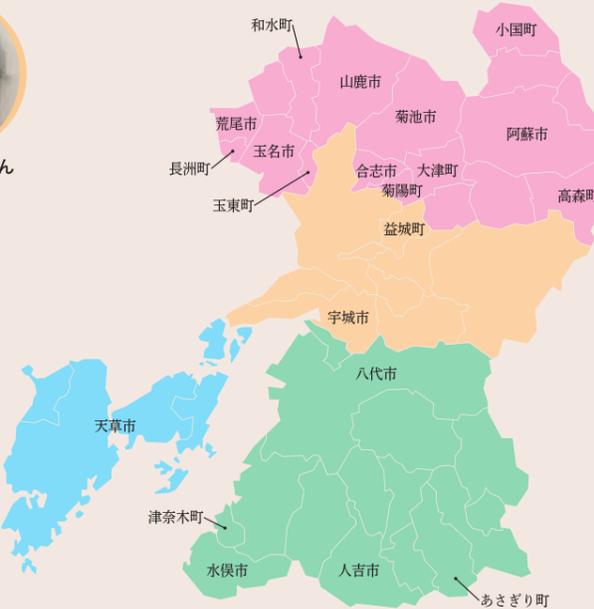
渡邊利香さん (人吉市)



吉村和子さん (人吉市)



小谷つゆみさん (あさぎり町)



# HiGO ROCKa Summit フォーラム&アワード2021

## 熱いハートで創る未来のくまもと

女性活躍の課題や今後の可能性を考える「HiGO ROCKa(ヒゴロック)Summit」フォーラムを11月3日、くまもと県民交流館パレアで開催しました(主催:熊本県・熊本県女性の社会参画加速化会議、共催:日本経済新聞社)。当日は、オンライン参加と併せて約220人が参加。女性の管理職比率が全国1位という徳島県経済界の代表と蒲島郁夫知事ら6人で、意見を交わしました。

左から徳島商工会議所会頭の寺内カツコさん、徳島県経営者協会会長の林香与子さん、徳島県経済同友会代表幹事の坂田千代子さん



経済界3団体のトップが、いずれも女性という徳島県。審議会委員に占める女性の割合も全国平均37%に対して、56.6%と突出しています。この状況について、同県経済同友会の坂田千代子代表幹事は「女性起業家や管理職の育成に取り組む『阿波女あきんど塾』という組織が1995年に徳島市で発足されるなど、女性の人材育成の場があったことが、今の結果につながっているように思います」と話します。

また、女性管理職比率は徳島県が20.1%で全国1位、熊本県も19%で全国2位ですが、男性の家事・育児にかけける時間(共働き世帯)は全国平均に比べて低い現状などが示されました。本フォーラムのコーディネーター、日本経済新聞社の山本公彦さんは「男女の人口比がおおよそ半々と考えると、熊本、徳島両県は女性活躍の先進県とは言え、女性管理職比率が約20%と、決して高い割合とは言えない状況。男性は仕事、女性は家庭といった根深い性別役割分担意識が残っていることが原因では」と指摘。女性活躍を推進していくには、男性の意識改革が不可欠と位置づけ、肥後銀行や熊本県の取

**真の女性の活躍推進には 男性の意識改革が不可欠**

組みなどをそれぞれの代表が紹介しました。

熊本県経済同友会代表幹事で、肥後銀行取締役頭取の笠原慶久さんは、行内の男性の育児休業制度取得率が100%であることを例に挙げ、「仕事と育児の両立支援は、男女ともに進んでいくことが大切。今後も積極的に進めていきたい」と述べました。

蒲島知事は、県での女性登用の現状から、「まずは経験してもらって、社会に参画できる環境をつくっていききたい」と強調しました。

徳島県と課題を共有し、女性の活躍推進の輪が広がっていくことを期待できる大会となりました。



左から日本経済新聞社の山本公彦さん、蒲島郁夫知事、熊本県女性の社会参画加速化会議副会長の西村まりこさん、熊本県経済同友会代表幹事の笠原慶久さん

熊本県女性の寄り添い支援地域別相談会

ココロもカラダもほっ! 元気な明日につなぐ **くまもとWOMEN'S Cafe** ~女性による女性のための相談会~

当事者と相談機関をつなぎ 女性が抱える悩みを相談

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会や経済の不安定な状況が続いている昨今、人とのつながりが希薄になる中、特に女性の間では孤立や孤独の問題が深刻化しています。

熊本県でも女性支援ネットワーク(KCW)では、そんな困りごとを抱えた女性たちが気軽に不安や悩みを相談できる場所をつくるため、10月31日、くまもと県民交流館パレアでくまもとWOMEN'S Cafeを開催しました。

また手作りの焼き菓子や並ぶカフェコーナーや、アーセラビーなど親子で楽しめるワークショップもあり、会場は笑顔あふれる温かな雰囲気となりました。

当日は約150人が来場。家族関係や子育ての悩みなど、家にいる時間が多いコロナ禍ならではの相談が多く寄せられました。

相談者からは「カフェなどもあり親子で楽しめた」「託児付きだったのでゆっくり相談できて良かった」「女性のための相談窓口があること自体知らなかったという声も聞かれ、相談機関と当事者をつなぐ良い機会になったようです。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会や経済の不安定な状況が続いている昨今、人とのつながりが希薄になる中、特に女性の間では孤立や孤独の問題が深刻化しています。

熊本県でも女性支援ネットワーク(KCW)では、そんな困りごとを抱えた女性たちが気軽に不安や悩みを相談できる場所をつくるため、10月31日、くまもと県民交流館パレアでくまもとWOMEN'S Cafeを開催しました。

また手作りの焼き菓子や並ぶカフェコーナーや、アーセラビーなど親子で楽しめるワークショップもあり、会場は笑顔あふれる温かな雰囲気となりました。

当日は約150人が来場。家族関係や子育ての悩みなど、家にいる時間が多いコロナ禍ならではの相談が多く寄せられました。

相談者からは「カフェなどもあり親子で楽しめた」「託児付きだったのでゆっくり相談できて良かった」「女性のための相談窓口があること自体知らなかったという声も聞かれ、相談機関と当事者をつなぐ良い機会になったようです。